時局的作品を　マイクの前で朗讀　　　朝鮮文人協會が作家動員[[1]](#footnote-1)

さきに京城府において決大會を開き、後國學建設にしつゝある朝人會では、今回に京城中送第二送と提、各作家をして、その時作品を自らマイクの前で朝を以て朗讀せしめ、全に呼びかけることになつたが、その作家は次の各氏である。

　香山光郎、咸大勲、金東仁、崔貞熙、鄭人澤、朴啓周、牧洋、李泰俊、李箕永、朴泰遠、李善熙、兪鎭午

1. 1941年12月18日付『京城日報』夕刊 [↑](#footnote-ref-1)